

私の祖父
ダニエル・パーソンズ
初めまして。私はダニエル・パーソンズと申します。今、大学二年生で、専攻は心理学です。五年前から日本語を勉強しています。日本に行きたことがありませんが、将来日本に行き、高校で英語を教えたいと思います。そして、私の家族は大きい族で、にぎやかで、とてもおもしろい家族です。今日は、私の祖父について話したい思います。私の祖父は、去年亡くなりましたが、生きていた時は、家族の中で一番頭がよか。たと父は言っています。私は祖父が大好きでした。祖父も私も誕生日が八月で、毎年、一緒に祝いました。祖父はけ。こんする前に六年間アメリカ海軍にいたので、きびしい人でしたが、まじめで、とても親切な人でした。体が悪くて車いすに乗っていました。よく私に色々な話をしてくれました。私は、子供の時、「おじいちゃんはずばらしい。私もおじいちゃんのように、世界を旅行したい。おじいちゃんのように頭がいい人

一か月後、私は祖父の家に行きました。祖父が私のことをほこりに思、たまま死んだかどうかを知りたか、たんです。私はゆ、くり祖父の寝室に

歩いて行きました。そこに祖父のつくえがありました。
私はつくえの引き出しをしずかに開けまし
た。中に祖父のかぎやペンがありました。そして、
祖父がさいごに使ったさいふも見つけました。
さいふの中には祖父の運転めんきょしょうと写真
が一枚だけ入っていました。その写真は、私が五
歳の時の写真でした。祖父はさいふ中に十五年間
も持っていました。それを見た時、私は、私が
知った以上に祖父が私を愛してくれていたと
気づきました。

そして、やっ、と、私は心の平和を取りもどしま
した。私はまだ死についてよく分かりません。こ
も、今、私は自分の道を元気に歩けるようになり
ました。私は、色々なことを自分で選択して自分
の人生を生きようと思っています。私の大好きな
祖父が私にそうしてほしがっていましたから。
将来、私は、祖父のように世界中を旅行したり、
色々なスキルを学んだり、人におもしろい話をし
たいと思っています。そして、年をとった時、私
のまごに「私はあなたをほこりに思う。」と言っ

ありがとうございました。